



秋風に乗ってちかづく市長選挙を前にして、候補者の顔色はすでに五指を数えるほどの盛況ぶり、その前哨戦は〇〇氏の後援会といった名目のもとに、ようやく活発化しつつあるが選挙に臨む市民の心構えとしては、人格高潔にして、政治的手腕のすぐれた人を選ばなければならぬことは判りきつたことだが、しかし最近の選挙戦はその判りきつた道理さえ無視され勝ちであるように思われる。

市長ともなれば執行の責任者は一人だから、よほど考えて最適任者を選ばなければ、忽ち行政の歯車へ狂いを生じて、南国市の不作はまちがいなく四年間つづくことになるから困るのである。

合併の落し子である赤字財政もまだ解消されず、屎尿処理場、庁舎建築といった具合に、重要課題も山積しており、この際はなおさら真の人材を必要とする時期である。

排水路がほしい

香長平野がこんな発案した原因は、野中兼山の作った水路が大きな力になっています。今からみても実に立派に作ったものであると思えます。

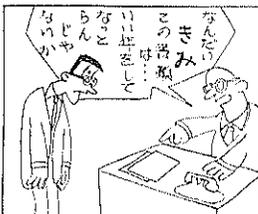
だが排水路がないのは残念です。毎年の台風で水びたしになる地区は広い。市当局の方々はどの地区がどれ位の雨でどれほど水びたし

しては、このごろ、選挙毎に目立って行なわれる買収的行為であり情実であり、新人の政治的手腕を見通すことのできない、有権者の政治意識の欠如といったことも理由の一つかも知れないが、今度こそは有権者全員が一步後退して、じっくりと候補者を見究めて、市の発展のために最適の人にてでてもらいたいものである。

になるかはすでにしらべてあると思えます。水びたしの地区に行けば井戸も使所も一諸のありきまで

赤字財政の市が一度にこれらの地区の水害をなくする程の工事をしても早この水害がなくなるように要望します。

(水害地区の市民)



24号台風から

天災のためものごとがうまくいかなかった場合、とかくいうべきではない。しかし考え方で支障を少なくできるとすると、とくに公的な仕事をやっている人たちは注意してほしい。

二十四号台風で市の上水道は、送電線が故障のため夕刻から断水した。これは、天災である。ところで翌朝も復旧してないから市役所に聞き合わせると、「さきほど zeroes エンジンを使い始めたから、そのうちに出る」とのこと。それから約一時間、いつごろから出るのかわからないとの話。

ここで考えるべきことは、送電の故障は台風下ではいつ復旧するか、わからないのが常である。一方水は生活と切りはなせないことを考え、停電と同時に zeroes 機関を使い揚水すべきだ。 zeroes

人権相談所

毎月20日 中町公民館

敬治 芳照
長直 弥
橋本 田交
高島 浜入
上野田 岩浜村
瓶前 田

人権擁護委員

ことを回顧する意味で、広く一般の市民から写真や、マンガを募集します。

写真は、キヤベネ版

締め切りは十一月末日まで、題材は自由ですが、

できればことし市内で行なわれた行事や、市が行なった事業を撮つたものを歓迎します。

募集

なお、市歌や、市の音頭も募集する予定です

で、いまから想を練っておいてください。

はこうした場合に備える施設である。それを避難とは、あまり考えである。ましてあの強風下断水で火災があつたらなんとする。物の役に立たないか知れない、しかしなんらかの支障にはなる。

断水事故を取り上げたのも、ほかにも思わしくないことがあつたため、市政は幅広い見方で行ってほしいと希望したいからだ。

(後免・M)